

# 議会だより しらおか Shiraoka



## 心安らく私のふるさと

白岡東小学校 5年（当時）

おおいずみあいこ  
大泉 愛子 さん

※令和元年夏作品

最近大きなビルや、ショッピングモールなどがたくさんある都会がふえています。でも未来の白岡は今よりもっと自然がふえた豊かな市になってほしいと思いました。花が一面に広がり川が流れ、大きな木があったら、とてもすてきな市だと思います。ビルなどがならぶ便利な市よりも、自然に囲まれ、心安らく市になってほしいので、この絵を書きました。

- P 2 まちづくりの  
基本構想
- P 3 請願
- P 4 市長提出議案
- P 6 議会日誌
- P 7 一般質問
- P 14 審議結果
- P 15 委員会  
活動報告
- P 16 議会報告会  
参加者募集・  
編集後記

※表紙のテーマは  
「未来－明日を創る－」です。

# No.214

2022.2.1



# まちづくりの基本構想 白岡はどうなるの？

## 市民に寄り添うまちづくり

市民の満足度の向上を図り、日々の暮らしに幸せを実感できるまちにするため、市民に寄り添ったまちづくりを進めます。

## チャレンジするまちづくり

市の強みを活用し、弱みや課題を克服していくために、市民と行政が様々なことにチャレンジしながらまちづくりを進めます。

## 持続可能なまちづくり

社会環境の変化が著しい中、時代の変化に柔軟に対応した持続可能なまちづくりを進めます。

## まちの将来像

みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち しらおか



「白岡市の基本構想を策定すること」は、第6次白岡市総合振興計画の「まちの将来像」や、「基本目標（分野別のまちの姿）」「将来フレーム」などを定めて4年度から13年度までの10年間におけるまちづくりを進める上での基本方針を示すものです。

本構想は、昨年度から策定が始まり様々な市民からご意見などを集めて完成しました。今回初めて取り入れられた主なものは以下の通りです。

- リモートでの市民フォーラム
- 市内820事業者の在勤者や小中学生883名対象のネット調査など

また、これまでに市総合振興計画審議会で計6回延500分を超える会議や議会との900分を超える意見交換等を経ました。今回、基本構想は議会で可決され、今後、基本計画が策定されていきます。

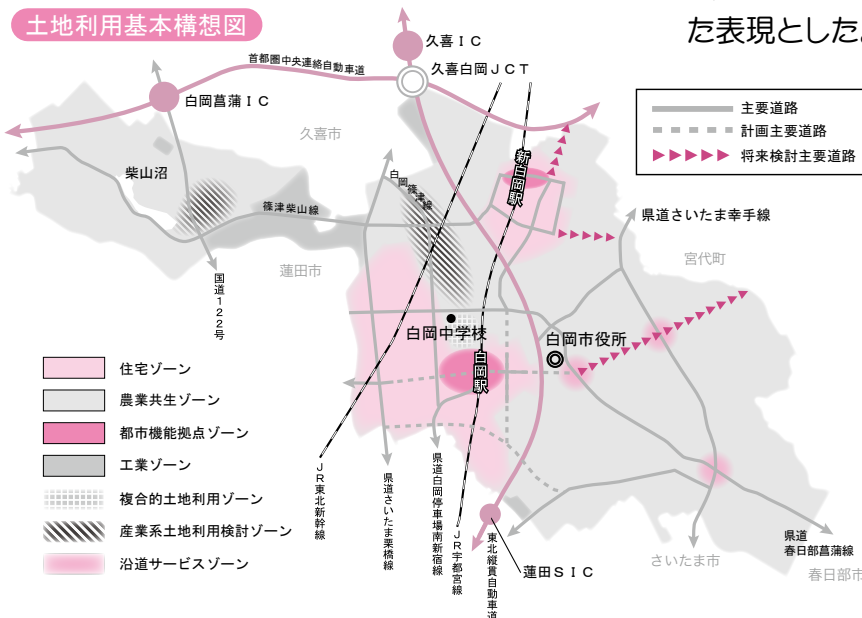
**問** 人口フレームの補足説明は、市民目線で考えると表現が難しいと感じるが、他の表現方法はないか。

**答** 分かりやすい説明が難しい部分であるが、省略すると説明が不足してしまうと考えている。

**問** 土地利用基本構想の都市機能拠点ゾーンで生活利便性の向上に資する施設とあるが、具体的な表現で記載することはできないか。

**答** 具体的な用途を記載していないが、生活に資する店舗などを想定しており、商業・業務施設など人を呼び込むような施設との違いを示した表現とした。

## 土地利用基本構想図



## 第6次総合振興計画基本構想

詳細は、上記QRコードから簡単アクセス



### 請願の趣旨

市内での定期路線バス運行を実現する協議会が地域住民の生活維持のための路線バスの運行について、市から援助を求める請願である。

バス事業者が市東部地域で路線バス運行を行うに当たり、不足する経費について市の補助をお願いするものである。

【請願者】市内での定期路線バス運行を実現する協議会 代表 稲橋重夫 他804名



※実証実験の際の写真

**問** 利用者の見込み、また、運賃収入と積算根拠を聞きたい。

**答** 世帯毎にアンケートを実施し、4000円の定期券・回数券を買うという方が165人いた。1回の運賃は200円である。バス1台の運行に、1日3万円の経費がかかり、毎月約100万円の運行経費を計画している。採算ラインは1便当たり10人～13人の利用と考えている。

**問** 協議会の総会ではどのような話があったのか。また、協議会組織について、規約、予算、役員が定められていると考えるが、規定されているのか。

**答** 総会では、意見交換、バス運行の実証実験の説明と打合せ、アンケートや請願についての協議をした。また、規約があり、役員も定めている。予算は寄付で賄<sup>まかな</sup>っている。

**問** 市内の公共交通の充実は全市民の願いであり、どのように進めていくのか手順が大切であると考えているが、どのように考えているのか。

**答** 市の事業で、市の手順を踏むと効率が悪くなり、採算が取れないバスになると考える。だからこそ、地域の民間主体で出来る限り小さい路線から始めていくということでスピード感をもって行っている。

**問** 認可を受ける事業者はどこになるのか。また、事業者は路線バスのノウハウがあるのか。

**答** 事業者は丸建つばさ交通株式会社である。蓮田市では「けんちゃんバス」として路線バスを運行しており、他の市町でもバスを運行している。

**問** 計画では運行が菁莪地域のみとなっている。市税を投入するには市全体の公平性が必要になるが、どのように考えているのか。

**答** 市全体に範囲を広くすると収入を経費が上回り、赤字が増える。今回は採算が合いそうな場所に路線を絞っているが、成功したら拡大していきたい。

●● 結果は **採択** ●●



人権擁護委員に吉澤俊一氏と小野寺晴美氏を推薦することを適任と認めた。

**問** 人権擁護委員法によれば、議会は被推薦者が「人格識見高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある」人物か否かを審議しなければならない。①北朝鮮拉致問題、②新疆ウイグル自治区における人権侵害、③チベット自治区における人権侵害、④プロテニス選手彭師氏ほうしの消息問題、⑤人権擁護の観点からの北京冬季五輪ボイコット、の5つの論点につき、被推薦者の人権的所見を伺う。

**答** 被推薦者の2人は、3期、10期と当市の人権擁護委員を務め、法務省などから表彰を受けていることから、そのキャリアは客観的にも認められている。「人権は普遍的な価値であり、必ず守られなければならないものである。」との意見を持っており、2人には今までの経験を基に、ますます活躍していただきたいと考えている。

### 反対討論

被推薦者の所見を確認できるよう6日前に質疑事項を執行部に伝えていたにもかかわらず、「個別事項について聞いておらず答弁できない」というのは議会の調査権しんさに真摯に対応する姿勢が見られない。被推薦者の識見が不明である以上、賛成できない。

### 賛成討論

中国における人権に関する事件に対して判断に資する十分な情報を得ることは通常困難であり、判断を保留せざるを得ない。人権擁護委員は全国で1万人を超えるか知らないが、人選にあたり見解を聞く必要はなく、本案に賛成である。



市の財政状況を鑑み、行財政改革の先鞭べんをつけるものとして、市長、副市長及び教育長の給料を減額するこの条例は、可決した。

#### 〈減額内容〉

職	減額割合	減額後給料月額	対象期間
市長	20%	648,000 円	4.1.1 ~ 6.11.25
副市長	10%	617,400 円	4.1.1 ~ 4. 3.31
教育長	5%	608,950 円	4.1.1 ~ 6. 3.31

**問** 一期4年の満了時に支払われる見込みの市長退職手当1564万9200円や来年以降の期末手当に減額等の影響はないのか。市長給料等を減額する理由として行財政改革の先鞭をつけるとしたが、何に対して先行して行うというのか。

**答** 市長の退職手当・期末手当は、減額とはならない。

市では行財政改革の取組を順次進めているが、この度、行財政改革推進の指針となる「行財政改革方針」を策定したところである。市長等の給料減額は、本方針の策定により取組が本格化することに先立ち、行財政改革に対する姿勢を示したものである。

**問** 給料の減額は市長のみでよいのではないか。

**答** 行財政改革方針が定まり、副市長、教育長においても財政がひっ迫していることを肌で感じていたことから、行財政改革の先鞭をつけるため、給料減額に賛同したと認識している。

**問** 減額分の約670万円について、使い道はどうなるのか。

**答** 今回の減額については、市長の姿勢として示したものであり、特定の財源とするものではない。



議案  
第 68 号  
(専決処分)

承認

## 一般会計補正予算 (第 7 号)

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種(追加接種)を実施するため、緊急に補正予算を編成する必要が生じ、3年10月15日に専決処分された本補正予算を承認した。

**問** 9月に緊急事態宣言が解除され、以降感染者数は低水準できているが、新たな変異株などにより感染拡大への新たな不安要素が広がりつつある。10月の全員協議会で説明を受けたが、変更点などがあるかを踏まえ今後のスケジュールを伺う。

**答** 2回目接種完了日から8か月が経過した方から順番に週単位に分けて接種券を送付している。接種については、12月1日から市内医療機関で、医療従事者を対象とした自院接種が随時開始され、それ以外の市民は、接種券の送付があった方から順に、予約受付センターで予約を受け付けている。接種は12月18日から市内医療機関で開始し、接種対象者の増加等に合わせ医療機関と調整し、3回目接種を希望する方がスムーズに接種できる体制を整備していく。

議案  
第 69 号

可決

## 老人福祉センターに係る指定管理者の指定

白岡市老人福祉センターの管理運営を株式会社明日葉に行わせる指定管理者の指定を可決した。

**問** 特に福祉系の指定管理者を選定する上で重要なのは、利用者に親しまれるファクター、指定管理が必要だ。どのような選定評価項目があって、それは利用者アンケートなどによるものか。

**答** 白岡市老人福祉センター募集要項で定められている応募資格などの要件を満たすことが確認された者にプロポーザルによる審査をした。審査は、白岡市老人福祉センター指定管理者選定委員会設置規程に基づく評価員が、募集要項に定める選定基準を基に審査及び選定をした。老人福祉の増進を目的に、施設管理運営業務に関する総合的な基本方針や施設及び設備の維持管理業務の考え方、また、指

定管理業務が効果的・効率的に行われ、経費の縮減が図られると認められることなどを総合的に評価した。

**問** 利用者の意見を伺う御意見箱は設置しているのか。

**答** 設置している。苦情等も含め意見が寄せられており、飲水用のマイカップ持参への意見等があった。

**問** 利用者の送迎サービスは今後どうなるのか。

**答** 具体的には未定であるが、今後、協議していく。

**問** 施設管理運営の業務内容は。

**答** レクリエーションや集会のための施設提供、生活相談及び健康相談に関すること、教養の向上及び健康増進に関すること、その他センター設置の目的を達成するために必要な事業に関すること、施設の維持管理に関すること等である。



老人福祉センター

議案  
第 77 号

可決

## 一般会計補正予算 (第 8 号)

子育て世帯への臨時特別給付金を支給するための補正予算である。

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金の2回目は、自治体の判断で現金給付も可能だが、クーポン券にするのか。

**答** 2回目のクーポン給付については、新聞報道等されているが、詳しい内容がまだ明らかになっていない。国の動向を見極め、使い勝手の良いかたちで支給できるよう検討する。

★議会閉会後に国の方針が定まったため10万円一括現金給付支給となった。

一般会計補正予算  
(第9号)

歳入の主なものは、市税、国庫支出金などである。歳出の主なものは、総務費、民生費、土木費などである。

原案に対して、「篠津分署改修事業2420万円」を削除する修正案\*が提出され、修正案否決・原案可決となった。

\*市長提出議案の内容に対し、議員は必要に応じて修正案を添えた修正動議を提出できる。

**問** 看過できない不具合等がない中、ホームページ制作に外注費約2130万円を計上している。行財政改革で自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)を進めようとしているのに、外注だとその後の保守管理のコスト高も考えられる。急ぐ理由は。

**答** 現在の市公式ホームページは、運用を開始してから10年目を迎える。市の顔であるホームページをリニューアルすることにより、画面の見やすさや情報の得やすさなど、さらなる市民サービスの向上につながるとともに、市外に向けて本市の良好な都市イメージを印象付けるシティプロモーションの一助となる。

**問** 白岡消防署篠津分署の跡地利用につき、車庫部分を改修してトレーニング室とする当初の予定がなぜか変更され、当該部分の改修が取りやめとなった。しかも、それにより弾き出されたのは当該部分を使用予定のトレーニング室ではなく、当該部分の使用予定がない観光協会であった。この経緯は不自然で不透明であり、トレーニング室は他に用地を求めるべきではないか(民間活力や公有資産の有効活用の観点も含め)。

また、市の提案につき観光協会(執行機関・議決機関)の了解を得ていないようだが、市長は臨時総会を招集するのか。

**答** 当市の介護予防事業として中心的な事業であ

る「シニア元気アップ教室」は、JR宇都宮線の東側にある介護予防事業拠点施設「いきいきさぼーと」と、JR宇都宮線の西側にある篠津分署で実施することが望ましいと考えている。

また、観光協会事務局の場所は、改築費が高額となるのも理由の一つだが、市の観光事業を更に発展させるとともに、シティセールスにも積極的に取り組んでいきたいと考え、篠津分署ではなく市役所庁舎2階の商工観光課内を提案させていただいた。

原案賛成討論

本予算は、保健センター分館を白岡駅西口整備の代替地とするために、その機能を篠津分署に移すための改修費を含めたもので、早急に実施が望まれる。白岡駅西口整備のためにも必要である。

原案反対討論

千駄野の火災では消防車22台が出動したが、戸建4棟への延焼を喰い止められなかった。白岡の消防力の将来像を市民とともに描く前に篠津分署を全廃することには不安しかない。改修してしまってからでは遅い。藤井市長は独断での決定を一旦白紙に戻すべきだ。

修正案反対討論

篠津分署は、埼玉東部消防組合においてその廃止が決定されたものである。組合で消防防災科学センターに委託して適正配置である15署所が決定され、厳守すべき根本である。これによれば篠津分署を廃止しても消防力は落ちることなく市民の安全は守られる。

修正案賛成討論

篠津分署の統合先である白岡消防署は老朽化が進んでいる。白岡消防署の具体的な改修計画も立っていない中、拙速に統合を行うべきでない。また、分署の施設活用については関係団体からしっかり合意を得ることが必要である。



11月	19日	議会運営委員会
	25日	本会議(開会・議案説明)
	29日	本会議(一般質問)
	30日	本会議(一般質問)
12月	1日	本会議(一般質問)
	3日	議会運営委員会 本会議議案質疑

3日	議会報告会実行委員会
	議会広報常任委員会
7日	産業建設常任委員会
8日	総務常任委員会
9日	文教厚生常任委員会
15日	議会運営委員会
	本会議(議案採決・閉会)

22日	蓮田白岡衛生組合議会定例会
	議会広報常任委員会
11月	11日 議会運営委員会
	14日 議会広報常任委員会
18日	県議長会の役員会
27日	議会全員協議会

※主なものを掲載しています。



# Q&A

## 一般質問

# 市政のそこが聞きたい!

12月定例議会の一般質問は、16名の議員が34項目について行いました。

### ◆斎藤信治 議員

- アダプテッドスポーツの推進を
- GIGAスクール次の一歩、オンライン授業について

### ◆中川幸廣 議員

- 教育にかかる費用の私費負担に公的補助を
- 市内における孤独死の状況と対策について

### ◆菱沼あゆ美 議員

- AED普及推進と使用について
- 水管橋について
- 流産・死産を経験された方への支援について

### ◆遠藤 誠 議員

- コミュニティ事業のために
- 図書館や自由通路等の場所と空間の価値について
- 近現代美術品の展示について、できない言い訳より、できる工夫を

### ◆黒須大一郎 議員

- 白岡市行財政改革推進大綱の総括を問う
- 市の財政規律とは
- まちづくりの計画と行財政改革推進を問う

### ◆石渡征浩 議員

- 地域公共交通の将来像について
- 放課後子ども教室について

### ◆山崎巨裕 議員

- 改訂版ハザードマップについて
- 市の配布物について
- 特別支援学級について

### ◆中山廣子 議員

- 読み書き情報支援について
- 水道の検針業務などについて

### ◆中村匡志 議員

- 市内の農業に対する米価暴落と原油価格高騰の影響について
- 行政区制度の再活用化について～「参画と協働」、「共助(防災・防犯)の基盤」、「文化継承の主体」、「シニア世代が輝く場」及び「シビックプライドとシティプロモーションの基本単位」の観点から
- マイナンバーカードの普及について
- 消防力と水防力の維持・構築について

### ◆渡辺聡一郎 議員

- 白岡中央総合病院の移転と医療環境の向上について
- アクティブシニア・高齢者活躍支援について

### ◆関口昌男 議員

- 福祉3医療の県内現物給付化について
- 本年度の人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告と市の対応について

### ◆松本栄一 議員

- ゼロカーボンシティ宣言について
- 当市の人口減少対策について

### ◆石原富子 議員

- 2040年問題に向けて(その2)

### ◆大島 勉 議員

- 市長の政治姿勢について

### ◆野々口真由美 議員

- 補助金交付に関わる事務執行等及び会計処理について

### ◆細井 公 議員

- 白岡駅西口周辺の商業環境について

※1人につき2項目までを要約して掲載しています。※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



斎藤信治 議員  
(WAKABA)

## 問 個別のオンライン授業を

4月からGIGAスクールが始まり、市内の小中学生全員が一人一台タブレット端末を持っている。様々な理由で学校に行けない子どもがいる。個々に応じたオンライン授業を提供することで、誰一人取り残さない教育を受ける権利を保障できないか。

## 答 一人一人工夫をしながら対応している

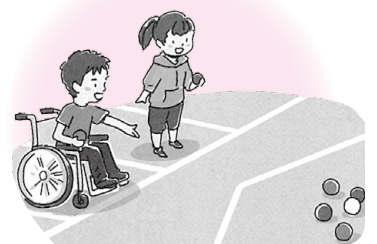
様々な理由で学校に登校することができない子どもたちへの支援策として、オンライン授業を含め、工夫をしながら対応している。一人一人の児童生徒に適した具体的な対応方法を学校と保護者、児童生徒との間で協議の上、決定している状況である。

## 問 アダプテッドスポーツの推進を

平成17年から障がい者と健常者がともに行うアダプテッドスポーツ教室を開催してきたが、参加者の固定化など停滞している。障がい者がスポーツに参加できる環境づくり(イベント開催・施設整備・広報・既存クラブによる受け入れなど)を進められないか。

## 答 障がい者スポーツの理解・普及に努める

スポーツ推進委員連絡協議会と連携し、障がい者が参加できるスポーツ教室を継続して実施していく。また、体育施設を安心して利用できるよう配慮するとともに、市体育協会に講習会の情報を提供し参加を促すなど障がい者スポーツへの理解・普及に努める。



**問** 教育にかかる私費負担の補助を

教育にかかる費用の私費負担が大変大きな額である。学校指定品といわれる用品は決められた店でしか購入できない。価格の低下と販売店の拡充、更にそれらの購入経費の補助ができないかを伺う。

**答** 就学援助制度を活用し対応していく

学校制服等の指定品は市衣料品小売組合を通じ製造販売がされている現状を考慮すると、販売店の拡充は困難である。児童生徒の就学に係る保護者の負担軽減は重要であり、経済的理由で学校教育費の負担が困難な保護者には、就学援助制度を活用し対応していく。



中川幸廣 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 孤独死の状況と独居高齢者の対応を伺う



孤独死は近年多くなっている。市内での孤独死の例はあるのか。また、孤独死に至りやすい独居高齢者は何人おられ、市としてのその方々に対する対応はどのようになされているのか伺う。

**答** 孤立する方の把握や見守り支援に努める

近年市が把握する孤独死の例は2件である。独居高齢者数は、昨年度の在宅要援護高齢者調査の結果で1441人であった。市では、高齢者福祉サービスの実施など高齢者が安心安全に生活できるよう、地域で孤立しがちな方々の把握や見守り、支援に努めていく。

**問** 命を守るAEDの普及と使用は

女性にAEDを使用する場合にためらってしまう。配慮をするためにも、胸部を覆う三角巾を本体に備えてはどうか。また、新型コロナウイルス感染症の状況下では、感染予防を考慮した心肺蘇生法の注意点がある。市民に周知が必要ではないか。

**答** AEDの普及、適正使用の推進に努める

男性と女性で救命活動に差が生じないように、プライバシー確保のためにAEDに三角巾を順次備え付けていく。また、感染症の流行を踏まえた救急蘇生法については、埼玉東部消防組合で実施している救命講習会で説明しており、今後も連携して周知に努める。



菱沼あゆ美 議員  
(公明党)

**問** 水管橋の状況は



水管橋(高岩)

水管橋とは、水道管が河川を渡るためのもので、大切なライフラインである。市内にいくつあるか。老朽化や災害による破損などに備えて、保守点検や維持管理が重要である。万が一、破損した場合の断水などのリスクはどうなるのか。

**答** 維持管理が重要であると認識している

水道管が河川を渡っている箇所は81カ所ある。水管橋が破損しても他の管路で補完できるため大規模な断水が発生することはない。定期点検の実施により、早期に異常を発見し対策していく予防保全型の維持管理を行うことで漏水事故等の防止に努めていく。





遠藤 誠 議員  
(WAKABA)

**問** コミュニティ事業について

市の事業、特に福祉は大きく2つ、給付とコミュニティづくりになる。今までコミュニティ事業は重視されていなかった。職員の意識を変えて、社会福祉協議会、シルバー人材センターをプラットフォームに組み立て直すべきだがいかがか。

**答** 両組織を支援し地域福祉を推進したい

行政と市民が協働した地域づくりを推進していくことは大変重要であり、社会福祉協議会とシルバー人材センターは、当市の地域づくりにおいて重要な役割を果たすものと捉えている。両組織を支援することで地域福祉の推進につなげていきたい。

**問** 近現代の美術品を展示する工夫を

現状では市内で美術品を鑑賞する機会は極めて限られている。市内に個人が所蔵する美術品については実態把握されていない。所蔵品を展示することで実態調査もでき市民の鑑賞の機会も提供できる。市としてどんな形でも展示を実施する気はないか。

**答** ギャラリーを活用し展示の場を提供する

市主催の展示はできないが、生涯学習センター〔こもれびの森〕には、市民等が自ら創作した作品等を展示することができるギャラリーを備えている。個人が所蔵する美術品についても、このギャラリーを活用して、市民が鑑賞できる機会を提供していく。



黒須大一郎 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 市の財政規律とは

市財政規律を①借入れの制約②税率や課税制限など財源の確保③住民サービスなど提供する際の歳出制限④予算編成プロセスの透明性、以上4つの視座で伺う。また、市財政規律を一言で表すとどういう言葉か。

**答** 秩序を持った財政運営に取り組んでいく

①適債性<sup>てきさいせい</sup>を勘案した起債による後年度負担の平準化②税率の検討における社会情勢の変化の慎重な把握③取捨選択による真に必要な事業の提供④予算概要等の市ホームページでの公開、に取り組む。事業の取捨選択・順位付けにより、秩序を持った財政運営に徹する。

**問** 行財政改革推進を問う

行財政改革推進の取組35項目での効果額合計約6.2億円を見込んだ事業案と総事業費は。また、その位置付けと効果額などは。市民が共感する目標事業案とその経費を示し、白岡進化大作戦と名付けて多数あるまちづくりの計画の推進力とするべきでは。

**答** 行財政改革方針に基づき取組を進める

行財政改革方針に基づく取組の効果額を活用して実施する事業は、市の発展において重要となる都市計画道路の整備などである。その費用は、今年度以降、都市計画道路白岡宮代線、白岡駅東口線、白岡駅西口線及び白岡駅前広場の整備で約87億円である。



成長していく和の白岡  
鈴木 楓侅菜さん

**問** のりあい交通の改善要望にどう応えるか

多くの市民から、①日曜・祭日の運行と運行時間帯を拡大してほしい、②利用頻度の高い近隣市町の病院にも行きたいなど改善を望む声が多い。どう対応するのか市の見解を伺う。

**答** 今後も協議会において検討していく

様々なご意見をいただいているが、まずは市外の一部の医療機関について現在運行に向けて調整を行っている。今後も定期的に市民の声を十分調査し、運行内容に反映できるよう、白岡市地域公共交通会議及び白岡市地域公共交通確保維持改善協議会で検討していく。



石渡征浩 議員  
(TSUNAGU)

**問** 放課後子ども教室を早急に拡大すべき



児童の放課後の居場所を目的に、現在、放課後子ども教室を菁莪小学校で実施しているが、開催が月に1回と少ない。少なくとも週に1回は実施する必要がある。また、市内6小学校全てに早急に拡大すべきと考えるが、今後10年間の計画について伺う。

**答** 関係者等と調整・検討し、拡大していく

放課後子ども教室の実施回数については、スタッフ、学校等と調整しながら、実施方法等を検討した上で増やしていきたい。また、5年後の8年度には小学校3校、10年後の13年度には6校全ての小学校で実施できるよう進めていく。

**問** 市の配布物が全世帯に届くことを期待

2022年3月に発行される改訂版ハザードマップの全世帯への配布を期待したが、現在の配布体制では1割強の世帯には届かない。行政区を通じての配布体制には限界がある。他市町村等の事例の調査・研究を進め、配布体制の見直しを強く求める。

**答** 他の自治体の取組を収集し検討していく

改訂版ハザードマップは市の広報紙と併せて配布するほか、市内公共施設に設置予定である。また、市の公式ホームページへの掲載や、安心安全メール等で周知する予定である。今後、広報紙等の配布方法について他の自治体の取組などを情報収集し、検討していく。



山崎巨裕 議員  
(日本共産党)

**問** 特別支援学級にゆとりを



近年、特別支援学級に在籍する児童生徒が急増している。現在の国の学級編成標準では対応できない事態が想像される。標準の引き下げ要請や県レベルでの弾力的な運用、必要に応じた支援員の配置とその経費の国費・県費負担の要請をお願いする。

**答** 学校全体で特別支援教育の充実を図る

編成基準の見直しや県の弾力的運用、支援員の経費の補助については、今後も引き続き要望していく。特別支援教育の充実を学校運営上の学校全体としての課題と捉え、教職員の特別支援教育に対する理解促進を図り、学校における特別支援教育の充実を目指す。





中山廣子 議員  
(公明党)

**問** 読み書き情報支援員の養成を

読み書きは、日常生活を送る上で、また社会とのつながりを持つために、自己の意思を表す手段として必要不可欠な行為。障がい者や高齢者にはそれが保障されていない。専門の知識や技術を持った「代読代筆情報支援員」を、市が養成するべきと考えるがいかがか。

**答** 職員の意識改革を図っていく

読み書き情報支援については、職員のちょっとした工夫や心配りによりできる支援をしていく。また、代読・代筆支援を必要とする方の数や必要とされる場面を把握し、職員向けの講習会の開催など、他市の事例を参考に研究していく。

**問** 水道スマートメーターの導入を

水道検針業務は、体力的にも精神的にも大変な仕事。その負担を軽減して、コストも省け、漏水の早期発見、高齢者の見守り支援にもつながる水道スマートメーターを、現在のアナログ式メーターの交換時期に合わせ、導入を検討してはいかがか。

**答** 業務効率化の検討課題として認識する

スマートメーターの導入は、経費圧縮、漏水の早期発見等が期待されるが、価格が高額であるため現時点では導入が困難。コスト削減や業務効率化は継続的な課題であることから、将来に向けての検討課題として認識している。



中村匡志 議員  
(創政会)

**問** 米価暴落と原油高騰の影響と対策は

米価安と原油高のダブルパンチが農業に深刻な影響を与えている。市内における米価とガソリン・軽油・灯油の価格の状況と、農家の経営への影響は。その影響により離農する農家や離農を検討する農家の数は。市として今般の危機に対し対策を講ずべきではないか。

**答** 種苗費相当額を補助する事業を実施する

去年と比べ米の買取単価は全ての銘柄で3900円下落し、灯油等の販売価格は30円程度値上がりしている。米農家や施設園芸農家等に影響を与えているが、その影響で離農する農家数は把握していない。対策として来年の水稲作付用の種苗費相当額を補助する。

**問** 篠津救急ステーションをなぜ断念した

埼玉東部消防組合の一昨年10月・11月の会議で小島前市長は篠津分署の救急ステーション化を主張し、白岡市として篠津分署全廃のみならず救急ステーション化も選択できることとなった。なぜ藤井市長は、救急ステーション化の選択肢を捨てて分署全廃を決めたのか。

**答** 消防力や財政負担等を鑑み総合的に判断

篠津分署を統合再編した場合も、常備消防の規模の拡大や高度な消防サービスの提供により消防力の低下が抑えられることに加え、市の施設の統合再編により財政負担の軽減やまちづくりに関する他の事業の推進に寄与することなどを考慮し、総合的に判断した。



救急ステーション化が実現した旧幸手西分署

**問** シニアバンクの設立について考えは

アクティブシニアの人材登録制度を設立できないか（シニアバンク）。シニアの方々にご登録いただき、市民団体や地域イベント、学校ボランティアなどでご活躍いただく人材バンクだ。シニアの社会参加だけでなく地域コミュニティの活性化も期待できるのでは。

**答** 情報提供の仕組みづくりを今後も進める

シニアバンクに類似する取組として、市民活動に関する情報を収集、発信、また活動を展開できる場所としてコミュニティセンターを位置付け、現在市民活動団体等のデータベースを作成している。今後、年齢にかかわらず情報提供ができるよう整備を進めていく。



渡辺聡一郎 議員  
(新風の会)

**問** 病院移転にあたり医療環境の向上を

白岡中央総合病院の移転とともに地域の医療環境の底上げを図っていく必要がある。新病院の充実について現状の計画は。また、がんが市民の健康に重大な問題となっている事を踏まえ、専門的な緩和ケア等を含む「がん医療」の強化を要望できないか。

**答** 新病院の機能充実を働き掛けていく

新病院は、急性期から回復期・在宅まで充実した地域密着型急性期病院を目指すと同っている。がん医療については、がんの早期発見・早期治療に向けた最新設備の導入や他病院との連携に加え、緩和ケア等に携わる人材育成の強化についても要望していく。



**問** 人事院勧告と定年制に対する市の対応は

人事院は3年8月に勧告を行い、県人事委員会は9月に勧告を行った。その内容は0.15月分のボーナスカットだった。また、公務員全体の定年制度の法改正も行われた。これらの細目は多岐に渡るようだが、ボーナスや定年制に対する市の対応はどのようにするのか。

**答** 人事院勧告等を踏まえ適切に対応する

国家公務員の給与改定等を踏まえて4年6月の期末手当が減額となる支給割合の改定を行う。定年年齢を60歳から65歳まで段階的に引き上げる定年延長などの改正については、5年4月1日の施行に向けて関係条例等の整備を行っていく。



関口昌男 議員  
(日本共産党)

**問** 福祉3医療の県内現物給付化について

県は福祉3医療費の乳幼児医療費・重度心身障害者医療費・ひとり親家庭等医療費を4年度から全県現物給付化を実施することになった。この内容を市としてはどのように対応するのか伺う。また、国民健康保険のペナルティはどのようにになっているのか。

**答** 福祉3医療とも4年度中に実施する

市では、こども医療費及び重度心身障害者医療費を4年10月から、ひとり親家庭等医療費を5年1月から、全年齢を対象に県内現物給付を実施する。なお、2年度診療分のこども医療費に係る国保の国庫負担金の減額調整措置は、約70万円である。







松本栄一 議員  
(創政会)

**問** 当市の人口減少対策について

第6次総合振興計画基本構想では、人口減少対策に触れていない。「まちの魅力の創出・発信、出産・子育て環境の整備などの施策により人口減少の抑制に努める」とあるが、HP・SNS・ふるさと納税制度などを活用し、すぐにできる施策を検討すべきである。

**答** 多様な媒体を活用して市をPRしていく

引き続き、インターネットやSNS、マスコットキャラクター等を活用して全国に向けて本市の魅力を効果的にPRするとともに、まずは本市に足を運んでもらうため、体験型のふるさと納税返礼品を充実させるなど市外から人を呼び込む仕掛けづくりを検討する。

**問** ゼロカーボンシティ宣言について

2050年の脱炭素社会実現に向け、全国及び県内の多くの自治体が宣言し、久喜市も太陽光発電所を擁して宣言済みである。㈱サラダボウルとの連携協定により、大規模のトマト栽培ハウスが建設されるが、太陽光発電を推進し、官民共同での宣言を目指せないか。

**答** 課題を整理し、調査研究を進め検討する

既に宣言をしている自治体においても、再生可能エネルギー導入の位置付けが政策の中で課題となっている実態がある。㈱サラダボウルとの官民共同での宣言については、今後、課題等を整理し、調査研究を進めたいので、検討する。



㈱サラダボウル  
土地改良事業計画地



石原富子 議員  
(TSUNAGU)

**問** 2040年問題その2

後期高齢者が急増し、毎年100人ずつ介護認定者が増えていくのが白岡市の特徴。孤立や引きこもりを防ぐには気楽に出かけ、話せる通いの場が必要だ。市の事業として取り組んでどうか。また、地域共生社会の実現のための方策は何か伺う。

**答** 市ならではの地域共生社会を実現したい

まず、現在の通いの場への参加呼び掛けを強化した後の検討課題としたい。また、地域の福祉課題や潜在的な支援ニーズを把握するためのアウトリーチ(訪問支援)による相談支援を行い、行政と地域の協働による支援ネットワークの構築に取り組んでいきたい。

**問** 市長の政治姿勢を問う

市長選挙以来、市長に就任され一年が経ったが、市長が掲げた“白岡を動かす”のスローガンのもと、自身の公約・公言したものについて具体策を伺うとともに、大きな事業達成のため、県だけでなく国との連携も非常に大切と考えるが、市長の考えは。

**答** 国などと、より一層連携を図っていく

時代の変化に柔軟に対応し、何事にも果敢に挑戦しながら、市民の皆様とともに、自然と調和した住みやすく、魅力あるまちづくりを進めていく。また、地元選出の国会議員、県議会議員をはじめ、国、県などの関係機関とより一層連携を図っていく。



大島 勉 議員  
(創政会)

**問** 補助金交付事務に関しての問題と改善策

2度にわたる質問から、補助金交付に関して、書類の不備や一つの支払いに対し三つの支払い方法が存在するなど、事務執行における不備が見つかった。なぜ、そのような事が起きたのか。そして、それはいつからなのか。再発防止の改善策も合わせて伺う。

**答** 交付手続の適正な執行を行うよう改める

団体への補助金の多くは、予算で定めた額を定額で交付していることなどから、精算事務への意識が希薄となり、以前から書類の省略が慣例化していた。今後、交付手続及び会計処理を適正に執行するよう事務を見直すとともに、市全体で確認する手段を構築する。



野々口眞由美 議員  
(TSUNAGU)



細井 公 議員  
(WAKABA)

**問** 白岡駅周辺の商業環境について

現在、白岡市では白岡駅周辺の再整備などの大掛かりな事業に取り組んでいる。白岡駅周辺等の既存の商店街で長く市内の商業環境を保持してきた商店がますます苦しくなり、衰退を招くことになると危惧する。白岡駅周辺地域の商業者をどのように考えているか。

**答** 魅力的な商業環境となるよう努めていく

今後は、都市の拠点となる区域に商業等の都市機能の誘導、集約を図る「都市機能誘導区域」の設定を関係部署間で連携し、検討する。また、設定した区域を活用し、店主の意見を伺いながら、魅力的な白岡駅西口周辺地域の商業環境となるよう努めていく。

《12月議会定例会の審議結果》

(○：賛成 ×：反対 —：表決なし)

議案番号	議席番号・議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
		石渡 征浩	中村 匡志	野々口眞由美	齋藤 信治	山崎 巨裕	関口 昌男	松本 栄一	中山 廣子	菱沼あゆ美	渡辺聡一郎	加藤 一生	中川 幸廣	細井 公	大島 勉	遠藤 誠	黒須大 一郎	石原 富子	江原 浩之*		
請願第2号	白岡市東部地域における路線バス運行に関する請願書	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	—	採 択	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	適 任
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	適 任
64	市の基本構想を策定することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
65	市長等の給料の額の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
66	手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
67	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
68	専決処分の承認(令和3年度一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承 認
69	老人福祉センターに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
70	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
71	一般会計補正予算(第9号)に対する修正案	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	—	否 決	
	一般会計補正予算(第9号)	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	—	原案可決	
72	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
73	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
令和3年度	蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
	一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
78	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決

\* 18番 江原浩之議員は議長のため、採決には加わっていません。



# 委員会活動報告

本年度はコロナ禍のため市内を視察

## 総務常任委員会

### 廃止統合再編される保健センター分館、 白岡消防署及び篠津分署について

10月19日(火) 白岡消防署、白岡消防署篠津分署、安心安全課、財政課

初めに、白岡消防署を視察した。白岡消防署は、昭和48年4月、白岡町消防本部として設置された後に、昭和51年4月、現在の消防庁舎が建築され、昭和62年3月、平屋建ての車庫が増築された。新型コロナ対策として密を避けるため、2階の会議室にベ



ッドを置き、仮眠室としても利用しているなどの説明を受けた。

次に、保健センター分館を視察した。保健センター分館は、昭和55年の建設以来、

保健センターとして利用され、保健センター機能の移転後は、高齢者の筋力トレーニングルーム、教育支援センター、観光協会の事務所として利用されている。

最後に、篠津分署を視察した。篠津分署は、平成25年3月に竣工し、鉄骨造の2階建てである。倉庫棟や消毒室のほか、救急仮眠室や消防仮眠室、屋上には太陽光発電設備があり、それぞれの設備を視察した。

今後、統廃合するこれらの施設は、決して単純なコスト削減ではないと思われるので、執行部には市民の安全と利便性をしっかりと考えた対応を要望したい。

## 文教厚生常任委員会

### 介護保険の現状と第8期介護保険事業計画について

10月20日(水) 高齢介護課

高齢介護課から介護保険の現状と第8期介護保険事業計画について説明を受けた。

説明によれば、介護予防及び高齢者の生きがいづくりとして、高齢者の介護予防・フレイル対策を推進するため、介護予防教室として「シニア元気アップ教室」を開催し、教室の空き時間には、トレーニングマシンを用いた筋力向上トレーニングや健だま運動を実施している。

また、高齢者がこれまでに得た技能や経験を生かすことができるようシルバー人材センターとも連携し、高齢者の就労機会の拡大を図っている。

高齢者の方々が元気でいられる秘訣は、社会とのつながり、やりがいや充実、適度な運動ではないかと考える。これらの方々がもっと地域づくりに参加しやすくなるような「仕掛け」や「社会参加の入口」を作っていく必要性を感じ、そのためには既存の事業だけでなく、研究を進め、多様な事業展開をすることを期待していきたい。



## 産業建設常任委員会

### 本市の商工業の現状と今後の展望について

10月26日(火) 白岡市商工会、商工観光課

白岡市商工会から本市の商工業の現状や商工会の取組等について説明を受けた。

コロナ禍における商工会の運営については、会員の要望に対する取組として、各種支援金、給付金等の相談及び申請支援が一番多かったため職員全員で対応したほか、資金繰り(融資あっせん)や感染防止資材の調達先等の相談があったと説明を



受けた。

また、市独自支援策として、2年度は、白岡市プレミアム付商品券事業、テナント家賃補助事業の実施など、3年度は、第2弾白岡市プレミアム付商品券事業、Pay Payキャンペーン事業の実施などがあったと説明を受けた。

商工会の活動は、本市の発展に大変重要な役割を担っていることから、商工業者に対する細やかな対応はもとより、魅力ある情報を発信し続け、いろいろな世代を巻き込み、確かな集客につないで、商工業者の更なる発展に寄与していただくよう期待する。



# 議会報告会の参加者を募集します



## 🕒 日時

令和4年**4月23日**(土)  
午後1時30分～4時30分

## 📍 場所

白岡市生涯学習センター(こもればの森)  
1階多目的ホール

## ✍️ 内容

第1部『令和4年度予算関係』  
第2部『テーマに沿ってグループワーク』

● 議会報告会の目的  
議会の活動状況等を市民に積極的に発信するとともに、市民と議員とが意見交換を行うことにより、市民の声を議会活動に反映させることを目的としています。

## 📧 申込方法

FAX 又は メール  
記載事項 ▶ 参加者全員の住所・名前・連絡先  
※託児が必要な場合はお子様の名前・年齢  
託児対象 ▶ 1歳～未就学児 定員5名

FAX: **93-5135**  
メール: [gikajimukyoku@city.shiraoka.lg.jp](mailto:gikajimukyoku@city.shiraoka.lg.jp)

## 📅 申込期間

令和4年2月1日～令和4年3月22日  
★申込み多数の場合は、抽選となります。

## ❓ 問合せ

上記FAX、メールまで

## 12月議会定例会傍聴者数

### 本会議

市内57名 市外 2名 合計59名

### 委員会

市内23名\* 市外 0名 合計23名  
(\*委員外議員11名を含む。)

次の議会定例会は、  
令和4年**2月17日**(木)開会予定です。

## 議会広報常任委員会

委員長	中村匡志
副委員長	中山廣子
委員	野々口眞由美
委員	斎藤信治
委員	山崎巨裕
委員	渡辺聡一郎
委員	黒須大一郎

議会・委員会傍聴へ  
いらしてください  
(議場は市役所4階です)

## 編集後記

12月議会では、これから10年を見通す市の「基本構想」が上程され可決した。この構想に基づく「基本計画」が現在検討されている。市民のみなさんに関心を持っていただきたい。  
(山崎)